



ニュースレター

12/7/14
 第25号

★三重豪NZ会報 2012年度 総会特集号★

《 本号の目次 》

- (1) 《総会の挨拶を踏まえて》 豪NZ 大使の挨拶など 宮本忠
- (2) 《随筆》 メルボルンあれこれ 畠山義啓
- (3) 《募集》 メルボルンに行きましょう！ 会長
- (4) 《報告》 定期総会など

(1) 《総会の挨拶を踏まえて》 豪NZ 大使の挨拶など 会長 宮本忠

政治の混迷や経済の低迷、国際関係や社会、人々の意識の変動の中で、当協会は創立以来、10周年を越えて活動してきました。さらに発展するために、この辺で私たちも、衣(コロモ)も心意気も状況に対応するようにしてゆかなければなりません。新鮮な発想と挑戦が必要です。

新しい国であるオーストラリアやニュージーランドの大きな魅力の一つは、未来に果敢に向かう挑戦でありその姿勢、明るさです。かの国を訪れるといつもそのことを感じます。

4月4日に、駐日オーストラリア大使から招待され、久しぶりに大使館に出かけました。「オーストラリアデー」のパーティーでした。友好協会の会長にはいつも招待があるのです。なかなか時間がとれずそれまでに一回だけ参加しただけでした。東京の大学院で研究していた会員の息子さんに会長代理として出席してもらったこともありました。彼は「よい経験だった」と大変喜んでいて思い出します。ところが最近、代理は駄目で、「写真付きの身分証明が必要、出席は招待状をもつ本人のみ」となっていました。今回、正午半から受付というので、その15分前に行きました。大使館の玄関前にはすでに多くの人がありました。カバンや身体検査を受けた後に入場となりました。会場にもすでに多くの人々の談笑が聞こえます。受付でカバンなどを預け、ドリンクをもらって会場内に入りました。正午半前にもうパーティーは盛り上がっています。200名はいたでしょうか？午後1時半を過ぎても大使の挨拶はありません。受付でもらった資料を見直すと、その中に大使の挨拶が印刷されていました。

私たちは、初対面の映画監督や有名劇団の指導者、音楽家、画家などとオーストラリアについて意見交換していました。そのうちに友好協会の一団から誘いがあり席をそちらに移しました。閉会近くになってきたとき、日本人を妻にする大使が流暢な日本語で挨拶に来られました。最近交代したニュージーランド大使の奥様も日本人でした。昨年、開かれたニュージーランド日本姉妹都市友好協会シンポジウム後のパーティーのときは、出口で大使夫妻が丁寧に各参加者に挨拶されていました。また、冒頭に行く彼らの「挨拶」は、通り一遍の形式的な挨拶ではなく、具体的なエピソードやユーモアを交えた内容の詰まった魅力ある「挨拶」をされます。昨年キャンベラで開催された豪日協会連盟大会での向こうの人の「挨拶」もそんな工夫がなされたものでした。また大会運営も内容も実質的に意味ある大会でしたし、アトラクションもパーティーも楽しく、有意義なものでした。こうした中にも、かれらの「ものごと」に対する心遣いや意気や真剣な取り組みが感じられ、そんなところにも、両国のすばらしさがあると私は思うのです。



(2)《随筆》メルボルンあれこれ 三重オーストラリア・ニュージーランド協会理事 畠山義啓

メルボルンは、オーストラリアの中でも最も英国の雰囲気を持っている都市です。公園も多く、ガーデンシティとよばれています。フィッツロイ公園にたたずんでいると、あたかもロンドンにいるかのように錯覚してしまいます。古い様式と斬新で芸術的な様式の建造物が混在し、通りが基盤の目に区画されている中を路面電車が走っている様は、日本の京都を連想させます。京都も昔は市電が走っていましたから。

そのようなメルボルンですが、日本のバブル経済の名残も存在します。1988年は、オーストラリア建国200年 (bicentenary) でした。このときブリズベンでは万国博覧会が開催されました。80年代おわりから90年代初め

にかけて、オーストラリアから政策的に日本、日本人に対して大変なラブコールが送られていたのではないかと思います。聞くところによると、この頃に日本人観光客誘致を狙って、旅行業界で働く日本人は簡単に永住ビザが取得できたそうです。日本がバブル経済を謳歌している中、日本各地からのカンタス航空の直行便が飛び、不動産業者によるリゾートとゴルフ場開発、高齢者移住計画が画策され、日本人がどんどん押し寄せた時代です。このような時代の中で、メルボルンに黒川紀章氏デザインで熊谷組が、先端がガラスの円錐形になっているビルを作りました。そしてここに大丸百貨店が入りました。この頃は、メルボルン市内に日本人観光客のための免税店やオパール専門店がいくつかありました。ところが、バブル経済の崩壊とともに90年代後半には、日本関連の商業施設がほとんどが泡のように消えていったのです。大丸メルボルンが入っていたビルは、現在メルボルンセントラルというショッピングモールになっています。大丸がメルボルンから撤退したのは2002年ですが、その数年後にオーストラリアでは大変な不動産バブルとなり地価が急速に倍々に高騰していったのです。ここで泣いた人、笑った人がたくさんいるのではないのでしょうか。私もある土地が800万円から3000万円になったことを記憶しています。

メルボルンで大きく変化してきたことといえば、有料高速道路網が整備されてきたことでしょうか。メルボルンの地図帳といえば、Melwayが便利なのですが、新しい道路がどんどん建設されるので、地図を数年おき買い替えなくてはならなくなりました。有料道路に料金所はありません。地元の車はe-tag (日本でいうとETCに当たる装置)をつけています。この装置をつけていない車は、通行する前か後で、インターネットか電話でクレジットカード番号と車のプレートナンバーを告げ料金を支払わなくてはなりません。道路上にたくさんカメラが設置されており、e-tagをつけていない車は撮影されるようです。カメラといえば、警察のスピードカメラ (日本ではオービスといわれています) は法定速度プラス14キロで反応するそうですからうっかりしているとスピード違反で反則金の請求書を受け取ることになります。日本まで郵送されてくるので気をつけましょう。

メルボルンの楽しみの一つに食べることを挙げる人も多いのではないのでしょうか。他民族国家ゆえに様々な国の本格的な料理を味わうことができます。どこの店が良いのかは、私の経験では人のあふれていることが一つの目安になると思っています。客のいない店などに入らないことです。日本食レストランは必ずしも日本人がやっているとは限らないので、ガイドブックなどで調べてから行った方がよいでしょう。食の楽しみは、レストランだけでなく、クイーンヴィクトリアマーケットにもあります。新鮮な魚介類、様々な肉類、チーズ、パスタ、野菜、果物と見ているだけでも楽しいです。このヴィクトリアマーケットには食料品以外に雑貨を扱っているところがあります。安かろう悪かろうといったものもありますが、興味深いお店もいくつかあります。車のナンバープレートに好きな文字と数字を入れて10分ほどで作ってくれるところだとか、エジプトのパピルスと美しいガラス製の香水入れを売っている店は、私のお気に入りです。

私が購入したナンバープレートの画像を添えておきますが、決して品のある英語ではないことをお断りして





おきます。また、エジプトの香水瓶の画像も付けておきますが、エジプトが政情不安定になった今、安心して購入できるのはこのヴィクトリアマーケットだと思っています。

ここ 20 年ほど私がメルボルンを見てきて思いつくままに書いてみました。



(3) 《募集》 メルボルンに行きましょう ! 会長

第 11 回親善交流の旅～世界で一番住みたい街とされたガーデンシティメルボルン訪問の要綱が出来ました。参加をご検討ください。ただし、旅の出発の 11 月まではまだ時間があり、飛行機運賃などの詳細は出来ていません。また最終スケジュールは、参加者の意見などを取り入れて決定となります。7 月末日までが募集期間です。参加希望の方は、問い合わせを含め宮本まで、電話またはファックスください。電話番号等は、059-368-2112、携帯は、090-1621-4263 です。

★旅行概要

☆注意：運賃などは一人分です。

定員：10 名以内

ホテル：マントル・オンザパーク（メルボルン；予定；コンドミニウム＝アパートメント形式）。7 日間同じホテルで落ち着く。1泊一人1万円以下。

機中泊（キチュウハク：2日）

利用空港：関西国際空港（関空）、中国国際空港そしてメルボルン国際空港

利用航空機と運賃など：南方航空または他の中国航空。なお、運賃プラスサーチャージなどは10万円以下になる予定（往復）

ツアーリスト（航空機代など） ワールドエクスプレス（神戸市）電話078-222-5050

旅費（みやげ代など個人用は除く）： 20万円前後の予定

旅行期間： 11月12日から21日まで10日間

★ 旅行行程

11月12日 月曜 《出発は関空から》 関西国際空港（関空）発→中国で乗換え→機内（泊）

13日 火曜 《コンニチハ Melbourne》 午前 メルボルン国際空港（着）→ホテル・チェックイン→昼食
午後 路面電車（観光用・無料トラム）で市内一周（シティ・サークル）→



- クイーンヴィクトリアマーケット（メルボルン最大の市場；月・水は休み）→ホテル（泊）
- 14日 水曜《ウォーキングでメルボルン散策》午前 メルボルン旅行者センター→フィッツロイ庭園（緑と小鳥）→セントパトリック教会（オーストラリアで最も背の高い大聖堂）→昼食はチャイナ・タウンで（ラッセルストリートとリトルパークストリート交差点を中心に）→パークストリート→コリンズストリート→アルバート・パーク（都心最大の公園周囲5km。FIグランプリ場あり）→ホテル（泊）
- 15日 木曜《学ブ》午前 メルボルン・ミュージアム（博物館）→昼食→午後 ロイヤルエキジビション・ビル（王立博覧館；世界遺産）以上は学問的雰囲気漂うカールトン地区・カールトン庭園にあり→ホテル（泊）
- 16日 金曜《豪日協会連合会と交流》午前→ホームガーデン（個人庭園）ツアー→昼食→午後→ホテルで自由行動→連合会と懇親会（連合会メルボルン大会前夜祭）→ホテル（泊）
- 17日 土曜《メルボルン郊外をエンジョイする》モーニングトン半島バス・ツアー→ホテル（泊）
- 18日 日曜《自然と文化の統合》午前 ヤラ川観光クルーズ（昼食付き）午後 ユーレカ・タワー（メルボルンで一番高いビル300m・92階の88階にある展望台。平成6年完成）→メルボルン動物園→ホテル（泊）
- 19日 月曜《ガーデンシティの仕上げ》午前 ボτανカル・ガーデン（植物園）→昼食→繁華街など（みやげ購入など）→ホテル（サヨナラパーティー・泊）
- 20日 火曜《再会を期して》ホテル・チェック・アウト→メルボルン国際空港（中国で乗換え）→機内（泊）
- 21日 水曜《新しい出発》関空帰国→自宅（お疲れ様でした）

(4) 《報告》 定期総会など

- ・日時 2012年4月8日（日） 午後2時
- ・場所 津リージョンプラザ二階第三会議室（津市丸の内23の1）。
- ・米倉芳周議長の下、以下のように総会が行われた。
- ・会長挨拶（前掲）： 宮本忠

・報告事項：

○豪NZ関係

- ー 5月 ニュージーランドのオームスビ・リサさん（三重県交流センター勤務）と「日NZ相互交流」について懇談。高田短期大学図書館館長室にて（畠山理事）
- ー 5月 昼食会と座談会：「ニュージーランドと日本は、どう違うの？」オームスビ・リサさん（オークランド出身）。松阪フレックスホテルにて。
- ー 6月 夕食会と座談会：豪日の生化学と生活；モナシュ大学ベン・アドラー教授夫妻。メルボルン在住、松阪フレックスホテルにて。
- ー 10月 連邦豪日協会連盟のマックリントックビル会長（シドニー在住）が三重訪問。伊勢神宮参拝・おはらい横町・懇談会（サンマルク、鈴鹿市）；宮本会長宅で泊。
- ー 11月 宮本会長と秘書がタスマニア大学など訪問、連邦豪日協会連盟タスマニア支部副会長のユキコ・バーンズさん宅でスキヤキ・パーティー、タスマニア大学日本人留学生家族10名とともに
- ー 12月 歓迎会と座談会：5年間は日本に居たい；ダニエル・ポール飯野高校先生御夫妻（メルボルン出身）。うどんの瀬戸（鈴鹿市）
- ー 秋 ニュージーランドのアブタビ高校から岐阜と滋賀の高校との訪問・交流について相談を受ける。比叡山高校を訪問・交流することになった。



- 一 連邦豪日協会連盟会報及び同連盟キャンベラ会報の受信
- 一 同上連盟コフスハーバーと親善交流旅行について交信（宮本由紀子理事）

○本部連合会等関係

- 一 6月 原爆の子折り鶴献呈式・NZ ケネデイ御夫妻歓迎会、広島日豪協会主催（広島市）およびサギ島広島・ニュージーランド友好の森完成式。ケネデイ大使御夫妻臨席。（三原市）。会長と秘書が参列。
- 一 11月 中部日豪協会連絡会（岐阜市）（富田副会長）

○協会内務関係（宮本秘書）

- 一 会報の発行 第23号 11月30日 第24号 3月3日
- 一 e-mail 配信
- 一 ホームページの管理・運営

○その他

- 一 11月 日本ニュージーランド学会において、宮本会長が「当協会の交流活動を中心にわが国の国際交流について」報告（大東文化大学・東京）
- 一 2012年3月
 - 1 平成24年度総会に提案する平成23年度決算の下井信夫監査による認定。
 - 2 現会計担当（富田正宏副会長）と新会計担当理事候補者（大野福代理事）による会計担当についての話し合い。
 - 3 第11回親善交流委員会（富田正宏副会長・大野福代理事・宮本由紀子理事）及び会長による旅行素案の検討。宮本会長宅にて。

協議事項：

第1号議案 新入会員の承認について

近藤仁志（津市）；個人会員が承認された。

第2号議案 平成24及び25年度（任期2年）協会役員の選任について 会長

時代の変化に対応するべく、役員体制をスリムにする。原則、留任とする。監査については専任せず、役員会と総会が責任をもって監査に当たる。また、事務局は、従来通り、設置しない。各理事がその担任についてアイデアと責任を持って各自の事務を管理する。

以上を踏まえ、以下の役員が承認された。

会長	宮本忠
理事（秘書）	宮本由紀子
副会長	富田正宏
理事(事業)	北出勲
理事(教育・情報)	畠山義啓
理事（渉外）	米倉芳周
理事（会報編集）	稲垣好孝
理事（会計・生活）	大野福代
理事（福祉）	黒宮英二
新任理事（青少年）	坂倉満
休任理事	西村昭徳



第3号議案 会員名簿の配布と会費の納入について

個人保護法（平成15年制定・17年施行）の下、会員名簿を各会員に配布すること、および二年間、会費未納者を会員名簿から除去することについてはすでに総会で決定されているのでこれを実行することが承認された。

第4号議案 2011年度決算および2012年度予算について（下井監査富田副会長・会計担当理事）
以下のように承認された。

2011年度 三重オーストラリア・ニュージーランド協会 会計報告

（自 2011年4月1日～至 2012年3月31日）

収入合計 665,218 円

支出合計 155,093 円

<収入の部>

項目	細目	金額	備考
会費	個人会員	152,500	個人 52,500 (21)
	家族会員		家族 50,000 (10)
	法人会員		法人 50,000 (5)
諸収入	雑入	90	預金利息 90
		2,500	寄付 2,500
前年度繰越金		510,128	
合計		665,218	

<支出の部>

項目	細目	金額	備考
報償費	講師謝礼等	0	各種事業の講師謝礼
役員行動費		25,000	役員活動費用(5,000×5)
旅費		48,240	6/4～5 駐日 NZ 大使歓迎会(広島・2名)44,980 11/19 全国日豪協会中部地区連絡会(岐阜・1名)3,260
宿泊費		7,980	6/4 駐日 NZ 大使歓迎会(広島・2名)7,980
需用費		29,793	5/15 第1回例会昼食会・座談会講師昼食代 1,500 6/8 講師土産(まつさか交流物産館)暖簾 3,780 6/8 第2回例会夕食会・座談会講師夕食代 4,000(2名) 6/8 同上ウーロン茶代 350×18+税・サ=7,276 9/15 豪日協会長歓迎夕食会来賓夕食代 2,971 12/4 第3回例会昼食会・座談会講師夕食代 2,770(2名) 1/30 役員会食料費補助 1,000×6=6,000 2/6 印刷用紙 336 3/9 印刷用インク 1,160
役務費		22,880	郵送料 7,410、振込手数料 1,470 ドメイン更新料 2011年度 14,000
備品購入費		0	協会事務用品備品購入
負担金		17,000	5/20 全国日本 NZ 協会連合会 2011・2012 年度会費 3,000×2 6/4 駐日 NZ 大使歓迎会参加費 6,000(2名)



			11/19 全国日豪協会中部地区連絡会 2011 年度会費 5,000
使用料		4,200	2011・2012 年度三重豪 NZ 協会総会会場借上料 2,100×2
事業助成費		0	
合計		155,093	

差引残高 665,218 円－155,093 円＝510,125 円→510,125 円を次年度に繰り越す。

2012 年度 三重オーストラリア・ニュージーランド協会 予算案

(自 2012 年 4 月 1 日～至 2013 年 3 月 31 日)

<収入の部>

項目	細目	金額	備考
前年度繰越金		510,125	
会費	個人会員	152,500	個人 52,500 (21)
	家族会員		家族 50,000 (10)
	法人会員		法人 50,000 (5)
諸収入	雑収入	90	預金利息・雑収入
合 計		662,715	

<支出の部>

項目	細目	金額	備考
報償費	講師謝礼等	30,000	各種事業の講師謝礼
役員行動費		25,000	役員活動費用(5,000×5)
旅費		100,000	講師旅費を含む行事参加旅費
宿泊費		30,000	行事参加に伴う宿泊費
需用費		50,000	消耗品・印刷製本費・食料費
役務費		30,000	郵送料・ドメイン更新料
備品購入費		0	協会事務用品備品購入
負担金		20,000	事業参加負担金
使用料		5,000	会場借上料(総会・各種事業)
事業助成費		0	
予備費		372,715	
合計		662,715	

第 5 号議案 第 1 1 回豪 NZ 親善交流旅行～メルボルンを中心に（旅行委員会：富田副会長・大野理事・宮本由紀子理事）以下のように承認された。

旅行概要

旅行タイトル：世界で一番暮らしたい都市メルボルンを中心に

一 定員：10 名

一 旅行期間とグループ：

第 1 グループ；11 月 12 日から 18 日 6 泊 7 日（内 2 泊は機中）

第 2 グループ；11 月 12 日から 21 日 9 泊 10 日（内 2 泊は機中）。7 泊目は無料

一 宿泊施設はアパートメント（コンドミニウム）Mantra on the park。同じ所 1 泊 1 人 1 万円以下。



- 一 利用空港：関空、中国国際空港そしてメルボルン国際空港
利用航空機：南方航空または他の中国航空
運賃プラスサーチャージなど：10万円以下（往復）
- 一 ツーリスト（航空機など） ワールドエクスプレス（神戸市）
- 一 旅費 第2グループ 一人20万円前後（航空機関係、コンドミニアム、懇親会費、ツアー関係）
- 一 応募は5月中。宮本まで。
定員に達した後、参加者を含め旅行実施委員会を設立し、旅行内容を整える。

第6号議案 福祉法人ウエルフェアのオーストラリア研修後援（継続案件）

第7号議案 e-mail 配信について時代に歩調を合わせ、また、協会の活動の能率化、節約化そして情報化のために積極的にIT化を進める（承認）。

第8号議案 ホームページの管理・運営について（畠山理事）
畠山理事の指揮と立石沙由里さん（姫路市）の協力のもと一層の充実を図る。（承認）（参考;mieoznzで検索できる）。

第9号議案 会報の発行について
稲垣理事を中心にして年二回の発行に努める（承認）。

第10号議案 例会・イベント開催について
各理事の発案に基づき、座談会等の開催に努める。会員各位からの提案歓迎。
本年第1回は富田副会長担当による岐阜協会員を招き伊勢市で開催。（5月27日）
8月 オーストラリア伝統楽器ディジュリドゥコンサート（詳細未定）（承認）

一 その他

2012年4月4日 「オーストラリア・デイ」パーティー参加；駐日オーストラリア大使館。同年11月24日 全国日豪協会連合会理事会・全体会議（神戸市）参加（承認）

一 Email 配信などの日常業務は例年通り実施（《報告事項》参照）

〔講演〕

総会後開演。タイトル 「メルボルン食べ歩き」（仮称）

講師 畠山義啓さん（協会理事・高田短期大学教授）

編集後記

今年2012年は、天文現象の当たり年。5月21日には金環日食が、6月6日には金星の日面通過が日本で観測され、天文現象ブームにもなりました。そして11月14日には皆既日食が起こります。観測できるのは日本ではなく、オーストラリア北部（ケアンズ等）です。ちょうどその日は当協会のメルボルン旅行日程中です。メルボルンでは部分日食になりますので、日食グラスも持参されるといいかもしれませんね。

発行 三重オーストラリア・ニュージーランド協会

発行責任者 宮本忠 TEL/FAX 059-368-2112
〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2626の95

Email: tyy15m@mecha.ne.jp

※ この会報にある文章・写真の無断掲載はご遠慮下さい。